

あそびとおはなしのひろばと 団士郎家族漫画展&トーク

無料

会場：白河市立図書館「りぶらん」

〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
東北本線白河駅下車 徒歩5分

白河市での開催は3回目です。
どなたでもどうぞ！
みんなで一緒に楽しみましょう。

9/3(日)

入退場
自由

主催：立命館大学大学院人間科学研究科 共催：NPO法人 しらかわ市民活動支援会
協力：一般社団法人 未来の準備室、特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

団士郎の漫画トーク

時間：10:00～11:30
(受付開始9:45)



場所：中会議室1

対象：高校生以上のかたならどなたでも参加
できます。お席に限りがありますので、お早め
にお越しください。



講師：団 士郎
立命館大学客員教授
家族心理臨床家
日本漫画家協会員
漫画家

何も起こらない家族は、世の中に一組もありません。だから「何も起こらない家族」を目指すのではなく、何が起こっても「なんとか乗り越えることができる」力を身に付けることが大事！

家漫画『木陰の物語』を通して、知らない誰かの物語に、自分のご家族とを照らし合わせながら、「家族」に対する思い出や、色々な事をそれぞれの仕方ですべて「発見」していくことが大切だと思います。そんなお話をします。



★参加されるみなさまへ
お願い

新型コロナウイルス感染症の
拡大状況により、イベントを
中止・延期する場合があります。

感染拡大防止の為、風邪の症
状や発熱のある方のご来場は、
自粛願います。ご来場の際は、
検温・手洗い・アルコール消
毒の実施やマスク着用などご
協力をお願い致します。

団士郎家族漫画展



図書館「りぶらん」
8/21～9/3

どうぞごゆっくり
ご覧ください。

ホッと一息 おもちゃであそぼう

時間：11:30～12:00

場所：中会議室3

司会：小磯 厚子（おひさまひろば副代表/
おもちゃコンサルタントマスター）

コマやけん玉など木のおもちゃであそぼう
グッド・トイがいっぱいあるよ！



あそびとおはなしのひろば

時間：13:30～14:30
(受付開始13:15)



場所：中会議室3

対象：赤ちゃんからお年寄りまで、どなたでも参加できます。
小さなお子さまは、保護者同伴でお願いいたします。

司会：小磯 厚子

伝承のあそびやおはなしの世界をみんなで味わいましょう。
小さなお子さまも一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。どうぞお楽しみに！

タイムスケジュール

- 13:30～ 手あそび唄
鵜野 祐介
(立命館大学教授)
- 13:45～ 昔ばなしと指人形
鳴島 あや子
(しらかわ語りの会)
- 14:15～ お手玉あそび
鵜野 祐介

予定の演目

- ◆ 手あそび唄
「はじまるよ」
「じいちゃんばあちゃん」
「このしのご」
「あんたがたどこさ」 etc.
- ◆ お手玉あそび
「べったらべったん」
「時計屋さん」
「桃太郎さん」
「あんたがたどこさ」 etc.

「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」
ってなあに？

活動内容、講師紹介、問合せ先など
詳細につきましては裏面をご覧ください。

「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」
ってなあに？



←活動紹介

東日本・家族応援プロジェクトは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、遠くから細く長く、十年間、東北4県を巡り、現地の支援機関の協力を得て市民や支援者と交流し、被災と復興の証人になることを目指して活動してきました。プロジェクトは2021年度をもっていったんひと区切りし、2022年度からは形を変えて、災害と人間について考え、地域を学ぶ大学院の教育プログラム「東日本・家族応援プロジェクト+(プラス)」として、地元の皆様のご協力を頂きながら活動を続けます。

プロジェクト代表 村本 邦子(立命館大学大学院人間科学研究科 教授/臨床心理士)

◇講師・司会の紹介

団 士郎

(立命館大学客員教授/家族心理臨床家/漫画家)

公立の児童相談機関心理職25年を経て独立。漫画家でもあり、マンガ集団「ぼむ」同人、WEB雑誌「対人援助マガジン」編集長。近年は上海、蘇州、ニューヨーク、ハワイでも漫画展を開催。全国で継続的に家族療法のワークショップを開催するほか、講演会も数多く開いている。

【主な著書】『家族の練習問題』1～9 (ホンブロック)、『不登校の解法』、『家族力×相談力』(ともに文春新書) など多数。2021年8月に、中国版「木陰の物語」が上海の出版社から刊行。
『わが子が小学校に上がる前に読みたい木陰の物語』(ホンブロック, 2021) など。

[士郎さん.com \(shiro-san.com\)](http://shiro-san.com)

小磯 厚子

(NPO法人 しらかわ市民活動支援会 おひさまひろば副代表/おもちゃコンサルタントマスター)

おひさまひろば・わんぱーくのスタッフ。国内外のおもちゃに精通し、優良なおもちゃ・遊びをバランスよく与えることのできる「遊びの栄養士」といわれるおもちゃコンサルタントマスター。福島県内でグッド・トイを使って良質なおもちゃの普及や活用方法について教える「おもちゃの広場」を開催。



鶴野 祐介 (立命館大学文学部教授)

1961年岡山県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。専門は教育人類学。日本、韓国・中国、英国スコットランドを主なフィールドとして、子ども期の伝承文化(遊び・子守唄・わらべうた・民間説話など)や児童文学・児童文化が子どもの人格形成に及ぼす影響について研究。アジア民間説話学会日本支部代表。子守唄・わらべうた学会代表。「うたとかたりのネットワーク」を主宰し、うたやかたりの実践・普及活動を進める。

【主な著書】『昔話の人間学 いのちとたましいの伝え方』(ナカニシヤ出版、2015)、『子どもの替え唄と戦争 笠木透のラスト・メッセージ』(子どもの文化研究所、2020)、『センス・オブ・ワンダーといのちのレッスン』(港の人、2020)、『世界子守唄紀行 子守唄の原像をたずねて』(藤原書店、2023)、『うたとかたりの人間学 いのちのバトン』(青土社、2023) など。

鳴島 あや子 (しらかわ語りの会会長)

元保育士(37年間 市内保育園勤務)
昔話・伝説・史話や小道具を使ったお話を、保育園、幼稚園、小学校、児童クラブ、老人会などで伝えながら、語りの楽しさを広めている。
白河かるた振興委員、中山義秀記念文学館運営委員、図書館おはなしボランティア、コミネスサポーターズ、小田川小学校読み聞かせボランティアなどのグループに所属している。



《漫画トーク参加者アンケートより》

・ちょっとした関わりを試みや変化で、劇的に家族のあり方や、児童のあり方が、変わることに素晴らしさを感じました。固定的な物の捉え方でないことの大事さを感じました。

・自分の概念、考えの幅、枠を広げられる講演でした。役に立つことをするという事は、これからも心にずっととどめておこうと思いました。

《漫画展来場者アンケートより》

漫画を見ていて、とても温かい気持ちになりました。誘って下さった友人に感謝致します。

プログラムサポート

立命館大学大学院人間科学研究科の院生たち

問合せ先

立命館大学大学院人間科学研究科
東日本・家族応援プロジェクト+(プラス) 事務局
e-mail: ejfspj2011@gmail.com